

2次検査呼び掛け

室蘭、登別両市は中学2、3年生を対象にした「ピロリ菌抗体検査」で、ピロリ菌感染の可能性が高い「陽性」となった計136人に対して室蘭市内3病院での「除菌を含めた2次検査の受診」を呼び掛けている。両市は「将来の病気の予防につながるため、2次検査や除菌治療を」としている。

陽性の136人に

ピロリ菌感染は、胃がげ、若い世代からの除菌んや胃潰瘍の大きな原因治療の実施などで、胃がとされる中で、両市は「次んななどの発症リスクを軽減する」(室蘭市健康推

(松岡秀宜)

室蘭、登別の中学生ピロリ菌検査

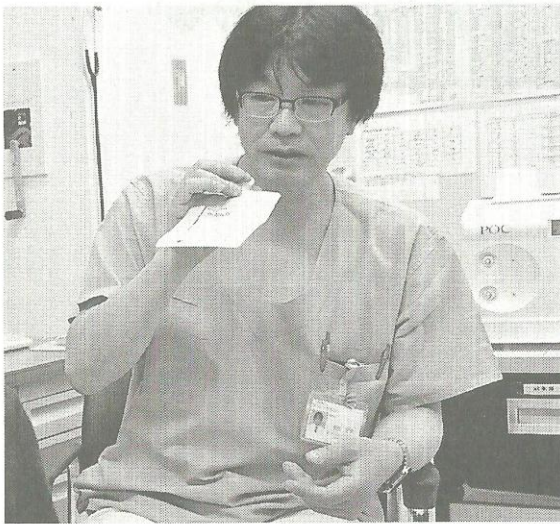
室蘭市内の3総合病院は、中学生対象のピロリ菌検査・除菌支援事業への対応として、陽性反応が出た生徒に対する「2次検査」と「除菌治療」を行っている。室蘭、登別両市の助成事業となるため、検査や治療への自己負担はない。各病院では、積極的な受診を呼び掛けている。

このうち、室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)は6月28日から「ピロリ菌専門外来」で、同事業に伴う2次検査と除菌治療をスタート。日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医の前田病院長が検査・治療を担当する。

製鉄記念病院には専門外来

2次検査では、専用の紙袋を呼気で膨らませ、ピロリ菌感染の有無を確かめる「尿素呼吸試験」を実施。同病院は感染が確認された場合には、内

自己負担はゼロ



進課)ため、本年度から抗体検査の対象を中学生にも拡大した。初年度となる本年度は、健康診断の検尿を用いて、両市の中学2、3年生計1791人(室蘭1076人、登別715人)が受けた結果、室蘭84人、登別52人の計136人が、感染が疑われる「陽性」と判明した。陽性率は室蘭7.8%、登別7.3%。いずれも想定(3~8%)の範囲内だった。受診率は室蘭75

服薬を用いた除菌治療への説明に入り、8週間後の再診で除菌の有無などを確認する」という。7月5日に受診した男子生徒は2次検査の結果、ピロリ菌に感染していない「陰性」と分かった。付き添った母親も「良かった。安心しました」と胸をなで下ろしていた。前田病院長は「(両市の公費負担のため)検査と治療は無料。ピロリ菌感染は成人後、胃がんや胃潰瘍などへのリスクが高まる。(陽性反応が出た生徒は)この機会に、感染の有無の再確認を」と話している。同病院では火、木、金曜日に対応。完全予約制で事前の電話予約が必要だ。2次検査と除菌治療についての問い合わせは製鉄記念室蘭病院、電話0143-44局4650番(月~金曜日午後2時~午後4時半)、市立室蘭総合病院、電話0143-25局3111番(月~金曜日午前9時~午後5時)、日鋼記念病院、電話0143-24局1033番(月~金曜日午後2時~午後4時)へ。(松岡秀宜)